

富山市教育委員会会議録
令和6年1月定例会

- 1 日 時 令和6年1月29日(月曜日)
午後 16時00分 開会
午後 17時15分 閉会
- 2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 中会議室
- 3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 藤 井 久 丈
委 員 高 田 健
委 員 石 動 瑞 代
- 4 説明のために出席した者
事務局長 砂 田 友 和
事務局次長（総務・社会教育担当） 古 西 達 也
事務局次長（学校教育担当）・教育センター所長 竹 脇 孝 志
教育総務課長 青 山 哲 也
学校再編推進課長 山 口 雅 之
学校施設課長 高 瀬 雅 基
学校教育課長 福 満 弘 信
学校保健課長 由 水 正 恵
生涯学習課長 加 藤 孝 一
教育センター所長代理 荒 瀬 誠
教育行政センター所長 片 山 尚 之
民俗民芸村管理センター村長代理 小 黒 智 久
ガラス美術館次長 水 原 秀 樹
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹 仙 石 正 明
学校教育課主幹指導主事（生活指導係長） 只 石 展 英
教育総務課長代理（管理係長） 塚 本 紘 己
教育総務課主査 渡 邊 藍 子

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議案

- 議案第1号 富山市文化財調査審議会委員の委嘱について
議案第2号 富山市大山歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について
議案第3号 富山市猪谷関所館運営協議会委員の委嘱について
議案第4号 富山市民俗民芸村運営協議会委員の委嘱について

(2) 報告事項

- 報告事項1 市内公立学校におけるいじめ重大事態の市長への発生報告について
報告事項2 富山市教育DX政策監の委嘱について
報告事項3 「令和5年度富山市中学校3年生学力調査」結果の概要について

(3) その他

- その他1 ガラスの街とやま連携展「ガラスと生きる 富山ガラス工房と所属作家」
その他2 富山市ガラス美術館企画展「回顧展：大平 洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ」

8 会議の要旨

【開会】

- [教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員全員が出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

- [教育長] 12月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)

[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

[教育長] 議案第1号～4号は、附属機関の委員の委嘱に関する案件である。また、報告事項1は、個人情報を含む案件である。さらに、報告事項2は、人事に関する案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 承認を得られたので、議案第1号～4号、報告事項1および2については非公開とし、その他2の後に行うこととする。

【報告事項3】

[教育長] 報告事項3について事務局から説明を求める。

[学校教育課長] (報告事項3について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[若林委員] 正答率が低い箇所は、自分で書かなければならない問題である。最近、私自身も書くことをしておらず、手書きが必要な文書もパソコンで入力してから手書きしている。そうしなければ、簡単な漢字が思い出せないことや直接手書きすると誤字を書いてしまうことが往々にしてある。大人だけでなく子どもたちも、一人一台端末を持つことになった弊害とまでは言わないが、まず自分で書くという力が弱いのではないか。今回の傾向を見ると、回答を長文で記述する問題形式の正答率が非常に低い。どのような訓練や対応をすればよいかを考えなければならないと思う。また、各教科の得点分布グラフを見ると、その年の問題難易度によって得点は違ってくると思うが、正規分布している教科もあれば、英語のように得点分布が低い点数に偏っている教科もある。小学校の英語問題については批判的に言われているが、英語嫌いを生み出しているかもしれないと感じた。数学の正答率が低かった問題については、問題を順に解いていくと、ヒントがあることに気づき解くことができるが、決められた時間内でこの問題だけを解こうとすると難しいと思う。このような問題は、時間制限がないところでじっくり考えなければいけないのではないか。同じような問題を授業で習っているのか、また教科書に載っているのか。無答率が高い問題ではあるが、

順番に解けば分かるようにステップになっているので、出題の仕方はよいと思う。この問題だけを解こうとして駄目だと思ってしまったのか等、なぜ無回答になったのかをじっくりと考えて分析することが必要だと思う。

[学校教育課長]

正規分布が左側に偏っている教科別得点分布グラフについて、数学に関しては考える問題の量が多かったため難易度が少し高かった。また、英語に関しては、難易度は高くなかったが、英語が苦手だと思っている生徒がどの問題においても正答率が低かったことがこのような分布に表れたと仮説を立てている。正答率の低かった七宝模様の問題に関しては、数学の授業において、身近にある模様を使った学習が進められている。問題が解けなかったときに、仲間と考え合いお互いにヒントを見つけ合うというトライアンドエラーの学習を充実していくことが大事であると考えており、問題を解くことが出来た、出来なかったに区別するのではなく、出来なかった生徒が出来た生徒にどうやって解いたのかを聞くことができる環境を授業の中で作っていくことが重要だと思う。

[藤井委員]

若林委員からもあったように、書くことに対する習慣が段々となくなってきた。記述式の正答率が低くなっている原因として、一生懸命考え、制限時間ぎりぎりまで書こうとする意欲や試験に対する必死さが薄れてきていることが考えられるのではないか。費用対効果や時間対効果を考えると、懸命に考えなくても構わないという風潮が生徒にも見られるのか心配である。現場ではどのような印象なのか。

[学校教育課長]

小学校から発達段階が上がっていく中で、小さい子どもたちは間違ってもいいからどんどん挑戦していこうという意識があるが、ある時から分からないことをそのままにして、それが積み重なった結果、諦めてしまう子どもがいるのではないかと危惧している。同じ教室の中にも、理解がとてもし早い子どももいれば、ゆっくりの子どももいる。一斉授業だけではなく、学習指導要領には個別最適な学びが謳われているが、一人ひとりに指導するというよりも一人ひとりが自分で自分のペースに合わせて時間をかけていくことを大事にしていかなければならないと現場の教員と話している。

[石動委員]

学力調査の設問をしているのは、富山県内の教員なのか。

[教育長]

富山市内の教員である。

[石動委員]

設問内容は、全国学力・学習状況調査や読解力を意識したものになっていると思う。いつごろからこのような設問内容の試験を実施しているのか。昔は、試験問題の中に、知識を問う問題が非常に多かった。最近は思考力・判断力・表現力を問う問題や資料等に基

づいて読解力を問う問題が増えてきていると思う。今回の調査対象である中学校3年生では、いつごろから現在のような試験問題の傾向に触れてきているのか。

[学校教育課長] 思考力・判断力・表現力という評価基準は、かなり以前から存在している。全国学力・学習状況調査が始まった平成19年度頃からもそれらを大事にする動きになっている。平成29年度の学習指導要領では、個別最適という名のもとにこれらを重視していこうという流れであり、特に言われていると認識している。

[石動委員] 今回の対象である中学校3年生の生徒は、新たな問題傾向に戸惑うことはなく、それは、小学校段階から思考力・判断力・表現力を重視した授業を受けていた結果だと理解してよいか。

[学校教育課長] ある段階から思考力・判断力・表現力を求めるのではなく、小学校1年生のときから学年の発達の段階に応じて進めてきた。

[石動委員] 思考力・判断力・表現力を高める方策として、「一人一台端末の活用」が示されているが、現在中学3年生の生徒が授業中に自分の意見をまとめる際に、一人一台端末を使用する率はどれぐらいなのか。

[学校教育課長] 一人一台端末を活用し、お互いの考えを共有する動きが、複数の中学校で見られるようになってきたというのが現状である。教科の特性もあるが、小学校と比較すると、全中学校に展開するまでに至っていない。希望した中学校をモデル校とし、全市的に一人一台端末を活用した学習を進めていくことを考えている。また、先ほど話があったように、手で書く記述のことも併せて進めることが重要だと考えている。

[石動委員] 先ほど話題になった数学の問題は、時間をかけて確かめながら進めばたどり着くトライアンドエラーの問題である。このような問題を目の前にすれば解いてみたいと意欲がわくと考えるが、実際はそうではないのだと思う。そこをどのように伸ばすかを考えたときに、似たような問題を解き、パターンの的に理解するという方法もあると思う。もちろんそれも大事だが、非認知能力である「やってみよう」という意欲を伸ばすことも大切にしてほしいと思う。

[学校教育課長] 授業改善に努めていきたい。

[高田委員] 総得点の平均正答率は52.25%である。例年と比較して、この正答率が高いのか。

[学校教育課長] 昨年度の総得点は93.2点だったので、総得点としては高くなっている。一方で、例えば英語は昨年度の得点が19.2点だったので比較すると低くなっている。国語、社会、数学、理科に関しては、少しずつだが高くなっている。ただ、問題は毎年違うので、一概に

は比べられない。

[高田委員]

作問する教員は、どれくらいの平均正答率を想定しているのか。

[学校教育課長]

中学校3年生学力調査に関しては、正答率約55%を目指して作成したと聞いている。

[教育長]

教育委員の皆様から質問や意見をいただいた。この学力調査は、分析から見えてくる課題を踏まえて授業改善をしていくための資料だと認識している。この分析から、単に結果の良し悪しだけではなく、何が足りないのか、どのような授業に改善していかなければならないのかが見えてきたと感じる。また、そこをしっかりと学校に返し、富山市が進めようとしている、子どもたちの非認知能力と認知能力のどちらも育てるという教育を展開していく必要があると感じている。

【その他1、2】

[教育長]

その他1、2について事務局から説明を求める。

[ガラス美術館次長]

(その他1、2について説明)

[教育長]

ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員]

質問等なし。

[教育長]

以上をもって公開案件に係わる議事は終了したが、その他質問等あるか。

[各委員]

質問等なし。

[教育長]

非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

【議案第1号～4号】※非公開案件

[教育長]

(議案第1号～4号について一括して事務局から説明を求める。)

[生涯学習課長外]

(議案第1号～4号について説明する。)

[教育長]

(議案第1号～4号についての採決について、各委員に諮る。)

[各委員] (議案第1号～4号について同意する。)
[教育長] (議案第1号～4号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

【報告事項1】※非公開案件

[教育長] (報告事項1について事務局から説明を求める。)
[学校教育課長] (報告事項1について説明する。)

【報告事項2】※非公開案件

[教育長] (報告事項2について事務局から説明を求める。)
[教育センター所長代理] (報告事項2について説明する。)

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。